

【危害・危険情報】

平成29年4月14日
生活文化局

1歳未満の乳児に 「はちみつ」を与えないでください！

都内において、はちみつの摂取が原因と推定される乳児ボツリヌス症による死亡事例がありました。

乳児ボツリヌス症は1歳未満の乳児に特有の疾病で、経口的に摂取されたボツリヌス菌の芽胞※が腸管内で発芽・増殖し、その際に産生される毒素により発症します。

乳児ボツリヌス症の予防のため、1歳未満の乳児に、はちみつを与えるのは避けてください。

※ 芽胞とは

ボツリヌス菌などの特定の菌は、増殖に適さない環境下において、芽胞を形成します。芽胞は、加熱や乾燥に対し、高い抵抗性を持ちます。

芽胞を死滅させるには120℃4分以上またはこれと同等の加熱殺菌が必要です。100℃程度では、長い時間加熱しても殺菌できません。

◎詳しい情報はこちら

【報道発表】

「食中毒の発生について～1歳未満の乳児にはちみつを与えないでください～」

東京都福祉保健局

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/hodo/saishin/pressshokuhin170407.html>

問合せ先 生活文化局消費生活部生活安全課
TEL 03-5388-3055